

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年6月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理No.	2-1-7-1
事務事業名 市独自研修事業				部等名	総務部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	総務課
	一般	01-020101003	細々目名	係等名	職員係
政策体系	基本目標	2	住民と行政の協働による自立したまちづくり		
	施策	1	安定した財政基盤の確立・行政改革の推進・効率的な財政運営		
	基本事業名	7	職員の人材開発の充実		

事業概要 実施内容	接遇研修やメンタルヘルス研修、安全運転講習会などを実施する。				
根拠法令等	地方公務員法	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業		事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度 ~ 年度)		
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	80,000 円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	80,000 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		職員	
手段(事業の具体的な内容、手順等)	活動指標名・式(アウトプット)※活動の大きさを表す指標	指標(1) 名称	研修を受講した職員数
庁内における研修として、外部講師を招き、行政がかかえる課題を取り上げて研修をおこなった。	→	指標(1) 式	140人
		指標(2) 名称	
		指標(2) 式	
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)	成果指標名・式(アウトカム)※意図の達成度を表す指標	指標(1) 名称	研修を受講して有意義と答えた職員比率
全体の奉仕者としての必要な資質を向上する。	→	指標(1) 式	96.25%
		指標(2) 名称	
		指標(2) 式	
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか			
職員の自己啓発意欲が向上し、自ら学習する組織風土が育まれたこと。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	人			140	130	
	活動指標(2)						
	成果指標(1)	%			96.25	97	
	成果指標(2)						
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			80	100
	事業費計(A)	千円			80	100	
人員費	職員数	人			0.2	0.2	
	人件費平均額(年)	千円			8,373	8,373	
	人件費計(B)	千円			1,675	1,675	
	総事業費(A+B)	千円			1,755	1,775	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

①、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
時代のニーズに対応した計画的な人材育成が必要になってきている。
②この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
特になし

2. 事務事業の評価 (Check)

【目的妥当性評価】		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由↓】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓, ⇒改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由↓】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓, ⇒改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由↓】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓, ⇒改革改善案へ】
階層に応じた能力や業務遂行に必要な知識・技能を身に付けることは、職員の資質能力の向上につながる。	職員の能力向上は、市民サービスの向上につながるため必須である。	対象は市職員なので実態に則している。また、職員の資質能力の向上のため意図は妥当である。
【有効性評価】		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由↓】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓, ⇒改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由↓】
現在以上に、計画的・政策的な研修を実施することにより、さらに成果が向上する。	地方公務員法により事業者が実施義務を負っています。	職員の研修事業なので他にはない。
【効率性評価】		【公平性評価】
事業費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓】	人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由↓】
職員を研修講師として育成し、活用を図る。	職員を研修講師として育成し、活用を図る。	対象は、職員なので偏っていない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	⇒職員研修そのものの意義や、手法など研修企画側と受講する側では、考え方の相違が伺われる。																							
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(4) 改革改善案の概要																								
人材育成として目指すところは、高い水準にあると考えられる。現在以上に、計画的・政策的な研修を実施することが重要。																								
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																								
職員を研修講師として育成することが重要。																								

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																							
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	⇒																							
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																								